

今日のトピック 2022年6月の注目イベント

上海でのロックダウン解除、世界経済の下振れ懸念は和らぐか

- 米国では14日、15日に連邦公開市場委員会（FOMC）が開催されます。連邦準備制度理事会（FRB）は、5月の会合で約22年ぶりの利上げ幅となる0.5%の利上げを決定しました。6月からはバランスシートの縮小が開始されます。今後も9月の会合にかけて0.5%の利上げが継続的に実施される見込みですが、その背景には歴史的な水準での物価上昇と雇用情勢の堅調さがあり、関連する経済指標の発表に注目です。
- 中国では上海での都市封鎖（ロックダウン）が6月に解除され、中国景気は持ち直していくと見られます。中国政府のゼロコロナ政策の下、新型コロナウイルスの感染抑制と経済活動のバランスが改善していくことで、サプライチェーンの混乱は徐々に正常化に向かうと見られ、世界経済の下振れ懸念は和らいでいくと期待されます。
- このほか、26日から28日にかけて主要7カ国・地域首脳会議（G7サミット）が開催されます。ロシアによるウクライナ侵攻が続く中、各国のエネルギー政策をはじめ、どのような話し合いがもたれるのか、注目です。

【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2022年6月）】

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
1日:5月ISM製造業景況指数、ページブック 3日:5月雇用統計 、5月ISM非製造業景況指数 7日:4月貿易収支 10日:5月消費者物価指数（CPI） 、6月ミシガン大学消費者センチメント指数	3日:ユーロ圏4月小売売上高 9日:欧州中央銀行（ECB）理事会	1日:中国5月財新製造業PMI、 豪州1-3月期GDP 6日:中国5月財新非製造業PMI 7日:豪州金融政策決定会合 、中国5月外貨準備高 8日:インド金融政策決定会合 9日:中国5月貿易収支 10日:中国5月PPI・CPI	7日:4月毎月勤労統計、4月家計調査 8日:4月国際収支、5月景気ウォッチャー、5月オフィス空室率 10日:5月PPI
14日:5月生産者物価指数（PPI） 14-15日:FOMC 15日:5月小売売上高 17日:5月鉱工業生産	13日:イギリス4月鉱工業生産 14日:ユーロ圏4月鉱工業生産 15日:ユーロ圏4月貿易収支 16日:イングランド銀行（BOE）金融政策委員会 17日:イギリス5月小売売上高	15日:中国5月固定資産投資、中国5月鉱工業生産、中国5月小売売上高、 ブラジル金融政策決定会合 16日:豪州5月雇用統計	15日:4月機械受注 16日:5月貿易収支 16-17日:日銀金融政策決定会合
23日:6月製造業・非製造業購買担当者景気指数（PMI） 27日:5月耐久財受注 28日:4月S&Pコアロジック・ケースシラー住宅価格指数、6月消費者信頼感指数 30日:5月個人所得、5月個人支出（PCE）、5月PCEデフレーター	22日:ユーロ圏6月消費者信頼感指数、イギリス5月CPI 23日:ユーロ圏6月PMI 24日:ドイツ6月IFO企業景況感指数 26-28日:7カ国・地域（G7）首脳会議（ドイツ）	23日:メキシコ金融政策決定会合、インドネシア金融政策決定会合、トルコ金融政策決定会合 29日:豪州5月小売売上高 30日:中国6月製造業・非製造業PMI	24日:5月全国CPI 29日:5月小売業販売額 30日:5月鉱工業生産

（注）2022年5月25日現在。日付は現地時間。（出所）各種報道等より三井住友DSアセットマネジメント作成

**ここも
チェック!**

2022年5月18日 中国経済は急減速も、上海はロックダウン解除へ
2022年5月13日 中国株と共産党大会の関係

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。